

1 目的

「長野県広域連携推進協議会」のもと、県内の水道事業者に通ずる喫緊の課題である「人材の確保・育成」をテーマに、水道事業を担う専門人材の確保・育成と、それを活かす組織体制の調査・研究を行う。

2 活動状況

【令和2年度】

開催回	活動内容
第1回 R3.2.5	<ul style="list-style-type: none"> 「人材確保・育成」に関する現状と課題を抽出 体制の確保・強化、更なる効率化の観点から、広域連携の基本的な考え方(方向性)を整理
第2回 R3.2.19	<ul style="list-style-type: none"> どのような取組が考えられるか意見交換 検討すべき広域連携の取組を10項目に整理 AI等を活用した最新の施設管理システム等を研究
第3回 R3.3.23	<ul style="list-style-type: none"> 整理した10項目の取組について意見交換 今後重点的に検討を進めていく4項目を選定



【検討すべき広域連携の取組を10項目に整理】

- 全県やブロック単位の支援センターの設置
- 実務研修会の充実、人材交流
- 非常時の広域連携
- 業務・運用の統一化、ローカルルール廃止

⇒ R3年度は、上記4項目について検討を具体化

- 水質検査センターの設置
- 熟練者を技術伝承者として活用
- 共同発注の実施、相互協力
- 施設管理の共同化・集約化
- システムの統一化・共同化・高度化
- 地元業者の確保、地域との連携

3 R3年度の取組

検討すべき10項目の取組のうち、まずは4項目について検討を深め、取組の具体案と、その実現に向けた進め方等を整理



協議会に諮り、希望する事業者や地域から速やかに実施
※全団体が一斉にということに限らず、取り組める団体からスタートもあり

【構成団体】(R3.3.4現在)

圏域	団体名	圏域	団体名
佐久	小諸市	松本	松本市、塩尻市、山形村
上田	上田市	北アルプス	大町市、白馬村、小谷村
諏訪	茅野市	長野	長野市(※第3回から参加予定)、千曲市、坂城町
上伊那	駒ヶ根市、辰野町、飯島町、南箕輪村、中川村、宮田村	北信	山ノ内町
南信州	飯田市、松川町、高森町	長野県	(市町村課、水大気環境課、企業局)
木曾	上松町	計	24団体(1県、10市、7町、6村)

人材確保・育成ワーキンググループ において議論すべきとしてまとめた取組

■全県やブロック単位の支援センターの設置

- 例：兵庫県まちづくり支援センター
- ・計画/設計、積算/総合評価、工事監理
 - ・広域連携支援
 - ・更新工事や会計事務等の研修会開催

□水質検査センターの設置

- 例：水質検査協議会等(佐久、上伊那)
- ・企業団を中心に組織し、周辺市町村の水質検査を実施

□熟練者を技術伝承者として活用

- ・OB職員等の知見・ノウハウを共有し指導員として市町村を支援する仕組み

■実務研修会の充実、人材交流

- 例：企業局水道事業実務研修会
- ・工事ほか、企業会計やアセットマネジメントなど多様なメニューを体系化
 - ・講師は県や市、外部から招聘
 - ・市町村間で人材交流
 - ・e-ラーニング

■非常時の広域連携

- ・学び合う仕組み、連絡管の接続、共同備蓄
- ・漏水や断水発生時等の助け合い
(応援、受援の広域連携)

□共同発注の実施、相互協力

- ・薬剤やメーターの共同購入、連絡管接続
- ・料金徴収業務を共同委託

□施設管理の共同化・集約化

- ・クラウドを活用し監視制御を一元化
- ・管理業務の標準化・集約化

□システムの統一化・共同化・高度化

- ・設計積算、施設台帳、施設管理、会計処理などのシステムを標準化、共同発注
- ・クラウド化して業務をスマート化

■業務・運用の統一化、ローカルルールの廃止

- ・業務の標準化、給水装置の標準化
- ・施設台帳の統一、申請書類の統一
- ・地域特性の整理

□地元業者の確保、地域との連携

- ・工事発注の平準化、発注規模の検討
- ・地域住民による維持管理、住民への周知